

第 6 学 年 図 画 工 作 科

教科目標

造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだす喜びを味わい、様々な表し方や見方に触れ、創造的に表現する態度を育てるようにします。

材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて主題の表し方を構想するとともに、美しさなどを考え、創造表現の能力、デザインや創造的な工作の能力を高めるようにします。

作品などを進んで鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、感性を高めるとともに、それらを大切にするようにします。

学習計画

月	題 材 名	時数	学 習 活 動
4	よく見て描こう（絵）	2	・鏡を見ながら自分の顔を描く。
5	縄文土器風飾り植木鉢（立）	5	・社会で学習した縄文土器の模様を参考に、模様や形を工夫して、縄文土器風飾り植木鉢をつくる。
6	「目を守るつどい」ポスタ - （絵・立体）	6	・色の組み合わせやデザインを工夫し、見る人によく伝わる「目を守るつどい」のポスタ - を制作する。
7	ユラユラ クルクル（つくる）	5	・クランクの動く仕組みを使って、楽しいものをつくる。
9	ライト・アップ（つくる）	6	・材料の特徴を生かし、形や光の効果を工夫しながら、自分らしい表現で、自分だけの照明器具をつくり、美しい色の光を楽しむ。
10	中島小百景（絵・立体）	10	・学校の見慣れた風景を構図や遠近感、色など表し方を工夫し絵に表す。
11	中島フェスティバルで	4	・グループで協力して、材料や場所を生かし、全校児童が喜ぶような「おばけやしき」をつくり、楽しむ。
12	おばけやしきをつくらう（造）		
1 2 3	卒業制作（つくる）	12	・木を組み立て木箱をつくり、自分の夢や願いを入れた飾りを彫り、小学校時代の思い出となる作品をつくる。
授 業 時 数 の 合 計			5 0 時 間

図画工作科の評価は

観 点	評 価 基 準	評 価 方 法
関心・意欲・態度	・自分の思いをもち、造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだすことや美しさなどを感じ取るなど造形表現活動を積極的に楽しみ、喜びを味わおうとしているかという観点から見ます。	<ul style="list-style-type: none"> ・準備、片づけの様子 ・製作過程 ・用具の扱い ・材料の収集 ・作品 ・鑑賞カード など 総合的に評価します。
発想や構想の能力	・見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、主題の表し方など自分らしい表現の構想をしたり、デザインの能力を働かせてつくりたいものの意図や美しさを考えるなど豊かな構想をしているかどうかという観点から見ます。	
創造的な技能	・表したい意図や周りの様子に関連付けながら、創造的な技能を働かせたり、造形感覚を生かしたりして、表し方を工夫しているかどうかという観点から見ます。	
鑑賞の能力	・造形作品などに親しみ、その美しさなどを感じたり、表し方のよさを感じ取ったり、味わったりしているかどうかという観点から見ます。	

